

田浦地域小中学校教育環境整備検討協議会ニュース

～子どもたちのより良い教育環境のために～

Vol. 6 発行 横須賀市教育委員会 2023.7



5月19日に開催した第6回田浦地域小中学校教育環境整備検討協議会の内容についてお知らせします。

○第6回地域別協議会の主な議題

- 1 田浦地域のアンケート結果及び要望書について
- 2 教育環境整備の意見等（第1回～第5回）の整理について

1 第6回地域別協議会の概要

（1）田浦地域のアンケート結果及び要望書について

田浦地域の「田浦小学校を考える会」から「田浦小学校の統廃合計画についての地域アンケート結果」と「田浦小学校の統廃合計画についての要望書」が教育委員会に提出され、本資料を協議会の各委員に配布の上、議題に取り上げてほしいとの申し出がありました。

アンケートは、学区内の全戸に配布し、回答世帯数は382世帯、うち小学生以下の子どもがいる世帯は52世帯とのことでした。アンケート結果については、第6回協議会の配布資料として横須賀市ホームページに掲載しております。

【要望書の内容】

- 1 学校統廃合を決定する前に住民説明会を開いてください。
- 2 学校統廃合の時期について再検討してください。
- 3 学校統廃合を決定する前にスクールバスの運用について具体策を出してください。
- 4 学校統廃合を決定する前に跡地活用について住民と協議し、具体策を出してください。
- 5 学校統廃合における課題が全て解決するまで、学校統廃合を決定しないでください。

アンケート及び要望書についてご意見を伺いました。

- 統廃合という「廃止」という言葉を、初めて聞いた気がします。田浦小学校と長浦小学校が長浦小学校の校舎で一緒になるんだというイメージでしたが、田浦小学校がなくなることについて非常に重く考えておられているということがよく分かりました。
- 田浦小学校の地区を少し歩いたのですが、田浦小学校をなくさないでというポスターを何枚か見ましたし、そういう意味ではよく考えが伝わってくるというふうに思っています。ただ、もし統合になった場合には、田浦小学校と長浦小学校でいつでも一緒にやれるような体制は作っていきたいと思っています。また、トンネルを歩いたときには相当怖い思いをしましたので、スクールバスというのは必要であると思います。

- 周囲では、「令和7年に田浦小学校がなくなっちゃうよ」というお話しをお聞きします。ニュースという形で紙面が回覧板に入ってきたりなどはしていますが、直接、地域の方々に届く形で、不安を直接聞いていただいたり、これはそうではなくこういうことですよという説明があったりすることで安心したりですとか、これからどうしていかかと考えるところに参加していきたいと思っている方もいると思います。アンケートの要望書もそうですが、この一つ一つの内容を今まで知らなかった、分からなかったということがたくさん書かれているということを感じました。直接の説明会か何かがあるととても良いのではないかと思います。私が集まっている中での地域のご意見というところでは、皆さまからご意見がたくさん出されますけれども、届かない、聞こえない声というものがあるとすごく感じました。
- 資料の中に、「この統廃合についてあまり知らなかった」ということが載っています。長浦でも協議会ニュースを回覧しています。また、毎月会報を出しているのですが、その中に、大きな字で「何かご意見はないですか」と求めているのですが、全くありません。受け身の流れだから来ないのかも分かりませんが、ただ、田浦小学校を卒業し、田浦中学校でお世話になっている生徒のお母さんがいらっしゃるのですが、その方とメールでやりとりをしていますと、「子ども同士のことを全然触れられていないように思う。なぜやらなければいけないのか、田浦小学校と長浦小学校の子ども同士についてのお話しがほとんどない」とのことでした。
- この要望書に書かれている1から5というのは、田浦地区に住まわれている保護者、地域の方たちのご意見の一部になりますので、審議会の方に出していただければと思っております。ここに書いてある要望の中でも、納得するところもありますし、できれば皆さまが、全員が納得というのはなかなか難しいと思いますが、この協議会を通して、こういったスクールバスの運用の具体的な策や、統廃合の時期の再検討、経年劣化があるのでなかなか難しいとは思いますが、建て替えの再検討や、跡地利用を決めてから統合などを協議会も含めて、審議会の方にご意見を持っていただければと思っております。
- 「学校統廃合は地域の衰退に繋がると思うか」ということについて、84%の方がこのアンケート上懸念をされているという数値が出ております。子どもの教育もそうなのですが、スクールバスの運用についてなどもいろいろ書かれていますが、この地域の衰退は、大きく関わってくるところで、このアンケートの中で読み取れるところだと思います。都市計画というか、まちづくりの観点から、この統廃合がどのような結果を生んでしまうのかということ、行政としてどのようにお考えになられているか、教育の立場ということも含めてもそうなのですが、まちづくりの中で行政が掲げているもの、例えば、田浦であればアーティスト村との兼ね合いとか、いろいろなものを掲げて行政は行っているとは思いますが、そういった中で、どうしても学校を統廃合することが逆行していくように見受けられてしまうというように感じるということもこの中に書いてあります。教育委員会や審議会ももちろんそうなのですが、まちづくりというところで、どのようにお考えになるのか。その専門部門の方々がいらっしゃると思いますので、その点も含めてご協議、ご審議を重ねていただけるとありがたいなと思います。

(2) 教育環境整備の意見等（第1回～第5回）の整理について

全市的に児童生徒が減少し、学校施設の老朽化も進んでいる状況を踏まえ、本協議会では3つの方策案が出され、それぞれの方策案に対し、これまで議論を行ってまいりました。

第6回の協議会では、横須賀市立小中学校適正配置審議会に報告するため、これまでの意見を集約・整理しました。

方策案1 田浦小学校区を長浦小学校区へ編入する。

方策案1（参考） 港が丘1丁目を除く田浦小学校区を長浦小学校区に編入し、
港が丘1丁目を船越小学校に編入する。

方策案2 長浦小学校に中学校を併設する。また、田浦中学校に小学校を併設する。

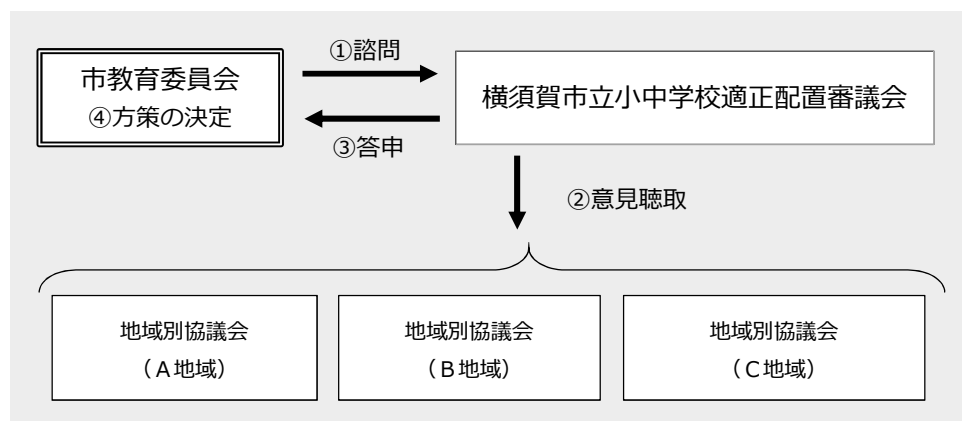
方策案3 田浦小学校を現地で建て替える。

教育環境整備の意見等（第1回～第5回）の整理についてご意見を伺いました。

- 実際に統合が決まりましたとなった後に、「市の財政上スクールバスが出せません」でしたり、「空き地のままちょっと様子を見ましょう」でしたり、そういうことが一番怖いです。
- 地域のご意見もそうですし、協議会の意見として、統廃合があるのであれば、子どもたち、地域の方たちが安心して暮らせる環境を大前提として作っていただきたい、そのためには何が必要なのかというのあわせて考えていただきたい。
- この協議会の雰囲気を変えたいです。ここの文章に書いてある意図だったり、強さだったり、間だったり、そういうところも、審議会の委員に伝わればいいなと思っております。
- 対応策がすべて整った上で、教育環境が整った状況で、新しい形の学校としてスタートしますということを約束していただきたいです。そうすることで、安心して子どもたちが通えますし、保護者の方は子どもたちを通わせられるということだと思います。

2 今後の流れについて

今後、審議会において、「田浦地域における市立小中学校の教育環境整備の推進に係る方策等について」の答申を行い、その答申に基づき、教育委員会が教育環境整備の方策を決定します。



3 次回、第7回地域別協議会の開催について

次回の開催日程については、審議会の進捗状況により決定します。
詳細が決まり次第、横須賀市ホームページにてお知らせします。



教育環境整備検討協議会について

当日資料や会議録等については、以下のホームページからご覧いただけます。

URL
<https://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/8115/documents/tiikibetukyougikai.html>

QRコード



横須賀市立小中学校適正配置審議会について

当日資料や会議録等については、以下のホームページからご覧いただけます。

URL
<https://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/8115/documents/shouchuugakkoutekiseihaichisingikai.html>

QRコード



～皆さまからのご意見等を受け付けております～

ご意見等がございましたら、以下のファクスかEメールまでお願いいたします。

事務局（お問い合わせ先）

〒238-8550 横須賀市小川町11番地
横須賀市教育委員会事務局教育総務部教育政策課
電話 046-822-9751 ファクス 046-822-6849
E-メール sc-real@city.yokosuka.kanagawa.jp

